



# SAGA 2024 国スポ 全障スポ

新しい大会へ。すべての人に、スポーツのチカラを。

令和6年（2024年）に開催される国民スポーツ大会（国民体育大会）佐賀県大会において、有田町は「ウエイトリフティング」と「軟式野球」の会場地となっています。

国スポ NEWS では、開催に向けた有田町実行委員会の取り組みなどについて紹介します。また、ホームページでも情報発信しています。



## ● 2022年 いちご一会とちぎ国体（栃木県）が開催されました！

～佐賀県選手団は2年後の佐賀県開催の国スポに向けてさらなる強化へ～

第77回国民体育大会「いちご一会とちぎ国体」は10月1日（土）、カンセキスタジアムとちぎ（栃木県総合運動公園陸上競技場）で総開会式が行われ、11日間におよぶアスリートたちの熱気あふれる試合が繰り広げられました。佐賀県は男女総合成績が21位、女子総合成績が14位でした。東京都が総合優勝、開催県の栃木県は総合2位でした。

本町開催競技関連では「ウエイトリフティング」において総合13位、「軟式野球」は総合9位と、佐賀県の得点（成績）の一躍を担いました。

2年後の国スポ佐賀県開催に向けて、今後も競技力向上・強化を図り、佐賀県選手団のさらなる活躍を期待しています。



◀ウエイトリフティング競技に出場した谷口源太選手（写真左・丸尾）と松尾町長。2年後の活躍が期待されます。



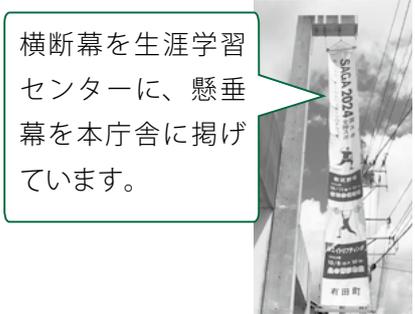
バーベルを持ち上げる谷口選手▶

## ● 広報・PRについて



窓口には国スポボールペンを設置しています。

職員は有田町オリジナルの国スポポロシャツを着用し来庁者にPRしています。



横断幕を生涯学習センターに、懸垂幕を本庁舎に掲げています。

**知っトク情報!! vol. 2**

**そもそも国体はどのようにして始まった？**

戦後の荒廃と混乱の中でスポーツを通して国民に勇気と希望を与えようと、全国規模の体育大会の開催が日本体育協会（現：日本スポーツ協会）によって提案され、昭和21年に戦災を免れた京都府を中心とした京阪神地域において第1回の国民体育大会が開催されました。戦後復興から始まった国体の本質はいまでも変わらず、連綿とスポーツを「する人」「見る人」「支える人」の想いを紡いでひとつにしてくれています。